

【施策14】 魅力創造・発信

～歴史や文化を守り活かし、人をひきつける魅力があふれるまち～

- ◆展開方向01：まちの魅力を高め、シビックプライドの醸成を図るため、学ぶ機会を増やすとともに、戦略的に発信します。
- ◆展開方向02：尼崎城をはじめとしたまちの多様な資源を活用し、市内外の人との交流の促進をめざし、観光地域づくりに取り組みます。
- ◆展開方向03：まちの魅力と活力を高めるため、地域の文化資源の活用を促進するとともに、新たな文化芸術活動の担い手を育成します。
- ◆展開方向04：まちの歴史とともに学びあえるよう、文化財や歴史資料等の保存や学習機会の充実に取り組みます。

展開方向01	1 都市イメージ向上推進事業費	461
展開方向02	2 姉妹・友好都市交流関係事業費	462
	3 国際交流事業補助金	463
	4 まちの魅力発信事業費	464
	5 まちの魅力発信事業費	465
	6 あまがさき観光局補助金	466
	7 観光地域づくり推進事業費	467
	8 尼崎城魅力向上事業費	468
	展開方向03	9 尼崎市文化振興財団補助金等
10 郷土画家「白髪一雄」発信プロジェクト事業費		470
11 文化団体育成補助金		471
12 若者の夢創造・発信事業費		472
13 尼子騒兵衛作品等資料収集・調査・活用事業費		473
14 芸術文化公演再開緊急支援事業補助金		474
展開方向04	15 史料館紀要発行事業費	475
	16 史料等整備事業費	476
	17 文化財保護啓発事業費	477
	18 歴史遺産を活かしたまちの魅力再発見事業費	478
	19 文化財収蔵庫企画展事業費	479
	20 歴史資料保存公開事業費	480
	21 特別展事業費	481
	22 古代のくらし体験学習会事業費	482
	23 田能遺跡サポーター養成事業費	483

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	都市イメージ向上推進事業費	192Q	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-1 まちの魅力を高め、シビックプライドの醸成を図るため、学ぶ機会を増やすとともに、戦略的に発信します。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成30年度	行政の取組	14-1 シビックプライドの醸成
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	60 企画費			
局	総合政策局	課	広報課	所属長名 藤川 明美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	治安やマナー、学校教育、自然環境などに関する負のイメージを払拭すべく、市内外の市民・事業者に対して、本市の暮らしやすさや教育の取組などを画像や映像を多用することで分かりやすくまとめた定住・転入促進情報発信サイト「尼ノ國」をさらに周知するほか、本市を総合的にPRする冊子を広く配布するなど、本市の魅力や特徴を生かしたシティプロモーションを展開することで、ファミリー世帯の定住・転入促進のほか、本市のイメージ向上につなげる。
事業概要	定住・転入促進情報発信サイト「尼ノ國」の運営、PR冊子の配布、ロゴマークの活用
実施内容	<p>都市イメージ向上推進事業費</p> <p>①尼ノ國サイト運営及びSEO対策 「尼崎市住まいと暮らしのための計画(R3.4~)」で掲げる尼崎だからできる自分らしい暮らし方の考えに沿って、自分の趣味や家族との暮らし方を、実際に住む地域や住居の建築に反映するなど、既に自分らしい暮らし方をしている方を先行して取材し、配信した。 SEO対策として、閲覧者に他のページも見てもらうために、各記事に関連する情報がわかる内部・外部リンクを設定してサイト内の回遊率を高めるなど、サイトの充実を図った。 また、「尼ノ國」Instagramを活用してハッシュタグキャンペーンを実施したことなどにより、フォロワー数は昨年度末から260人増加し1,188人となり、「#尼ノ國」での投稿数は2,021件増加し9,250件となった。</p> <p>②ひと咲き まち咲き あまがさき PR冊子配布 本市の魅力を市内外に向けて分かりやすく伝えるツールとして、尼崎の歴史や現代に続く文化などの魅力をまとめたPR冊子を公共施設だけでなく、市内各駅ショッピングモール等に広く設置した。</p> <p>③「ひと咲き まち咲き あまがさき」ロゴマークの活用 ロゴマークを市内外に向けた封筒やイベントチラシ、名刺などでの活用を周知し実践してもらうことで、まちへの愛着と誇りをさらに高めるきっかけとなった。</p>

②事業成果の点検

目標指標	尼ノ國サイトのページビュー数(月平均)						単位	回		
目標・実績	目標値	14,500	達成年度	令和4年度	平成30年度	11,904	令和元年度	12,881	令和2年度	10,960
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず) 尼ノ國サイトについてSEO対策に取り組んでいるが、回遊率が上がっていないため引き続き対策をしていく必要がある。また、サイトに掲載されている人や活動に動きがあればSNSで紹介しサイトに誘導していたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりその機会が減少し、アクセス数が伸び悩んだと想定される。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善) 「尼ノ國」サイトにおいて、本市の多様な住宅地の特性を活かしたブランディングなどを掲げる「尼崎市住まいと暮らしのための計画」の取組に沿って、尼崎だから実現できる自分らしい暮らしぶりを効果的に発信していく。また、同サイトで過去に公開した記事をSNSを活用しながら再度紹介し、更なる拡散とサイトへの誘導を図り、サイトの認知度を上げるとともにまちの魅力や暮らしやすさをより多くの人に広めていく。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	4,056	3,244	3,411	
報償費	27	27	54	研修講師謝礼等
需用費	503	266	146	印刷製本費等
委託料	3,526	2,951	3,208	尼ノ國サイト委託料等
使用料及び賃借料			3	会場使用料
人件費 B	3,838	3,809	4,247	
職員人工数	0.49	0.49	0.55	
職員人件費	3,838	3,809	4,247	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	7,894	7,053	7,658	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	7,894	7,053	7,658	

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	姉妹・友好都市交流関係事業費	102F	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-2 尼崎市をはじめとしたまちの多様な資源を活用し、市内外の人との交流の促進をめざし、観光地域づくりに取り組みます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 昭和34年度	行政の取組	14-2 観光地域づくりと市内外の交流促進
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	05 一般管理費			
局	総合政策局	課	文化振興担当	所属長名 松長 昌男

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	姉妹・友好都市から訪問団の受け入れと本市からの訪問団の派遣を通じ、提携趣旨である文化・産業等の交流を図ることで、姉妹・友好都市の市民間の相互理解と親善を深め友好を促進する。
事業概要	アウクスブルク市及び鞍山市との訪問団の相互派遣及び各種交流事業を実施する。
実施内容	<p>【アウクスブルク市】</p> <p>1両市の市長によるオンライン交流を実施(8月6日)</p> <p>2アウクスブルク市立音楽学校オンラインコンサートへ尼崎市長のメッセージ動画送付(3月15日)</p> <p>※青年使節団派遣(9月予定)を中止</p> <p>【鞍山市】</p> <p>尼崎市・鞍山市芸術交流展を実施。尼崎市から鞍山市へ51点の作品を、鞍山市から尼崎市へ110点の作品を送付した。</p> <p>1回目: 本庁舎南館2階秘書課前</p> <p>前期 3月2日～3月9日 (作品展示数28点)</p> <p>後期 3月10日～3月17日 (作品展示数26点)</p> <p>2回目: あまがさきキューズモール</p> <p>3月20日～3月31日 (作品展示数43点)</p> <p>※青少年使節団受入(6月予定)を中止</p>

②事業成果の点検

目標指標	両市の派遣・受入に関わる人数や書画交流など事業に関わった人数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	人		
目標・実績	目標値	1,600	達成年度	令和4年度	平成30年度	1,483	令和元年度	2,178	令和2年度	151
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <p>【アウクスブルク市】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大のため、尼崎市青年使節団派遣を令和3年度に延期した。直接的な人的交流以外の方法を模索する。</p> <p>【鞍山市】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度鞍山市青少年使節団受入事業が中止となったため、目標人数には届かなかったが、尼崎市・鞍山市芸術交流展は例年通り実施できたので、コロナ禍でも交流できる事業として引き続き継続していく予定である。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き姉妹・友好都市との交流を展開する。 新型コロナウイルス感染拡大のため渡航できない状況を踏まえて、インターネット等を使った新たな交流方法について検討する。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	5,549	34	4,137	
報償費	1,378	19	256	R2鞍山市青少年芸術交流展記念品
旅費	2,070		480	R3尼崎市青少年使節団団長旅費等
需用費	663	15	982	R2鞍山市青少年芸術交流展ポスター作製費
負担金補助及び交付金	1,200		800	R3尼崎市青少年使節団旅行費助成金
その他	238		1,619	R3鞍山市代表団宿泊代等
人件費 B	3,754	3,135	1,669	
職員人工数	0.24	0.14	0.06	
職員人件費	1,880	1,088	463	
嘱託等人件費	1,874	2,047	1,206	
合計 C(A+B)	9,303	3,169	5,806	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	9,303	3,169	5,806	

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	国際交流事業補助金	102J	施策	14 魅力創造・発信	
根拠法令	—		展開方向	14-2 尼崎城をはじめとしたまちの多様な資源を活用し、市内外の人との交流の促進をめざし、観光地域づくりに取り組みます。	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度			昭和56年度
会計	01 一般会計		行政の取組	14-2 観光地域づくりと市内外の交流促進	
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	05 一般管理費				
局	総合政策局	課	文化振興担当	所属長名	松長 昌男

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民レベルの国際親善や相互理解の促進を目的として、市民の国際交流を促進する事業や、姉妹都市・友好都市との交流を促進する事業、日本語講座などに対して補助金を交付し、市民主体の国際交流を促す。
事業概要	市民レベルの国際親善や相互理解の促進を目的とした国際交流事業に対し、補助を行う。
実施内容	<p>姉妹都市・友好都市その他諸外国の市民や団体及び在住の外国人市民との交流を行っている尼崎市国際交流協会に対して、事業補助を行った。</p> <p>1 国際交流促進事業</p> <p>(1)日本語講座 (市内施設3か所、受講生計32人)</p> <p>(2)JLPT試験(日本語能力試験N3)対策講座の実施(全4回、受講生3人)</p> <p>(3)日本語学習支援ボランティア養成講座(新型コロナウイルス感染拡大のため来年度に延期)</p> <p>(4)国際交流イベント(①オンラインによるイベントを開催(全6回)、②AIABAL(参加者9人)、③国際交流の集い(女性センターテレビエ)(参加者22人)</p> <p>※AIABAL:日本に住む外国人の話を聞き、地域のコミュニケーションを図る場(オンライン開催)</p> <p>(5)市内在住外国人との交流事業(①国際交流サロン、②日帰り旅行で交流)</p> <p>(6)日本語スピーチコンテスト</p> <p>((5)(6)いずれも新型コロナウイルス感染拡大のため中止)</p> <p>2 情報発信事業</p> <p>(1)ホームページの運営(メルマガ配信登録件数:270件、概ね3週間毎に更新、ホームページ閲覧者平均8人/日、閲覧ページ数平均38/日)</p> <p>(2)情報誌作成:年4回各500部発行、会員及び公的施設に配布</p>

②事業成果の点検

目標指標	国際交流協会主催の交流イベントや諸外国との交流等のうち、補助対象事業に係る人数の合計(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)				単位	人				
目標・実績	目標値	400	達成年度	毎年度	平成30年度	298	令和元年度	251	令和2年度	66
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <p>・実績数の主な減少は、新型コロナウイルス感染拡大によるイベント中止である。コロナ禍において、オンライン開催のイベントを実施する等、様々なアプローチを試みている。今後も国際交流イベントについて、更に交流が図られ、多くの人に興味を持ってもらえるような事業の実施を主催者である国際交流協会と協議していく必要がある。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・ポストコロナも見据えた尼崎市国際交流協会の活動等に対する支援の在り方について検討していく。</p> <p>・ダイバーシティの観点や近年の多文化共生の流れのなかで、今後需要がますます増えると思われる日本語講座の参加者数を、目標値の中に追加していくなど、目標そのものについても見直すことを検討する。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	567	445	591	
負担金補助及び交付金	567	445	591	
人件費 B	151	228	254	
職員人工数	0.01	0.02	0.02	
職員人件費	78	155	154	
嘱託等人件費	73	73	100	
合計 C(A+B)	718	673	845	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	718	673	845	

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	まちの魅力発信事業費	1F1F	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-2 尼崎城をはじめとしたまちの多様な資源を活用し、市内外の人との交流の促進をめざし、観光地域づくりに取り組みます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成21年度	行政の取組	14-2 観光地域づくりと市内外の交流促進
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	63 文化振興費			
局	総合政策局	課	文化振興担当	所属長名 松長 昌男

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	本市が持つ歴史や伝統、文化や産業などのまちの魅力を増進し、市民や来訪者に対しホスピタリティを持って戦略的・効果的に発信する。市民がわがまちに対して愛着と誇りを持ち、事業者や各種団体が、自主的に観光振興や交流人口拡大に向けた取組を行い、ホスピタリティあふれるまちとなるとともに、交流人口、活動人口、子育てファミリー世帯を中心とした人口(定住人口)が増加している状態を目指す。
事業概要	観光・集客事業により魅力を増進し、ホームページやSNSにより魅力を戦略的・効果的に発信する。
実施内容	<p>1 Webコンテンツ、パンフレットラックの運営 Twitterによる情報発信、市内駅・ホテル等に設置したパンフレットラックの運営を行った。</p> <p>2 観光・集客事業 あまらぶ体験隊として実施しているツアー等は新型コロナウイルス感染症の流行により、中止または動画配信などの代替形式での実施となった。 あまがさき観光案内所にて尼子騷兵衛氏の原画などを入れ替えながら常設展示を行う「尼子騷兵衛オリジナルピクチャーコレクション」を設置(第1回展示:令和3年2月20日~4月30日、期間内観光案内所利用客数 3,240人) その他歴史博物館の開館記念の尼子騷兵衛氏と大阪城天守閣館長の北川央氏による講演会の実施(参加者数38人)や、小田南生涯学習プラザ開館記念に、展示「乱太郎と尼崎の地名」を実施した(参加者数811人)。</p>

②事業成果の点検

目標指標	あまらぶ体験隊参加者の満足度							単位	%	
目標・実績	目標値	100	達成年度	令和4年度	平成30年度	91.3	令和元年度	95.7	令和2年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <p>・あまらぶ体験隊は、新型コロナウイルス感染症流行の状況下において、例年通りの実施には至らなかった。今後は動画配信など社会状況に合わせた集客に頼らないイベントの実施形態を考えていく必要がある。またオンライン等の形態にあつての満足度の調査方法を考えていく必要がある。</p> <p>・また、あまがさき観光案内所に尼子騷兵衛氏の原画などを入れ替えながら常設展示を行う「尼子騷兵衛オリジナルピクチャーコレクション」を設置し、NHK事業と協力し尼崎城周辺をクイズ形式で巡る忍たま乱太郎ミュージカルのライブ配信を行った。その他歴史博物館の開館記念の尼子騷兵衛氏と大阪城天守閣館長の北川央氏による講演会や、小田南生涯学習プラザ開館記念に、展示「乱太郎と尼崎の地名」を実施した。令和3年度開催の尼子騷兵衛展に先立ち、地域資源を活用することができた。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・パンフレットラックに空き状況がないよう、頻繁に補充を行い、市民や市外からの来訪者が確実に市内情報を得られるようにする。引き続きSNSを活用して広くイベント等の周知PRを行う。</p> <p>・他施設や他事業とのコラボレーションや、昨年同様に地域資源を生かした事業を実施する等、今後も工夫して本市の魅力を発信していく。令和3年度から工場夜景と阪神電車車両基地見学会は、観光振興課へ事業移行し、観光資源としてより一層本市の魅力を発信していく。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	3,353	2,009	2,993	令和3年度は上記移行事業に係る経費として、観光振興課に238千円を流用
報償費	900	500	1,100	
需用費	2,090	1,290	1,300	
委託料			200	
使用料及び賃借料	210	216	240	
その他	153	3	153	
人件費 B	3,377	4,355	5,138	
職員人工数	0.41	0.53	0.58	
職員人件費	3,211	4,120	4,479	
嘱託等人件費	166	235	659	
合計 C(A+B)	6,730	6,364	8,131	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	6,730	6,364	8,131	

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	まちの魅力発信事業費	1F1F	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-2 尼崎城をはじめとしたまちの多様な資源を活用し、市内外の人の交流の促進をめざし、観光地域づくりに取り組みます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成21年度	行政の取組	14-2 観光地域づくりと市内外の交流促進
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	63 文化振興費			
局	経済環境局	課	観光振興課	所属長名 海老原 美咲

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	本市が持つ歴史や伝統、文化や産業などのまちの魅力を増進し、市民や来訪者に対しホスピタリティを持って戦略的・効果的に発信する。市民がわがまちに対して愛着と誇りを持ち、事業者や各種団体が、自主的に観光振興や交流人口拡大に向けた取組を行い、ホスピタリティあふれるまちとなるとともに、交流人口、活動人口、子育てファミリー世帯を中心とした人口(定住人口)が増加している状態を目指す。
事業概要	観光・集客事業により魅力を増進し、ホームページやSNSにより魅力を戦略的・効果的に発信する。
実施内容	<p>1 観光・集客事業</p> <p>例年あまらぶ体験隊の活動の一環として実施している阪神電車の車両基地見学会は新型コロナウイルス感染症の流行状況に鑑み中止。工場夜景の撮影ツアーはコロナ対策として動画配信に代えて実施した。工場夜景の魅力発信する動画を(株)ベイ・コミュニケーションズと協力し作成したのち、ベイコム番組として放送。その後YouTubeチャンネル「あまがさき文化芸術情報局」でも配信。視聴数は347回(令和3年7月13日現在)</p> <p>※令和2年度は文化振興担当で実施。令和3年度に観光振興課へ事業移管</p>

②事業成果の点検

目標指標	あまらぶ体験隊参加者の満足度	単位	%						
目標・実績	目標値 100	達成年度	令和4年度	平成30年度	91.30	令和元年度	95.65	令和2年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <p>あまらぶ体験隊として例年実施している阪神電車の車両基地見学会と、工場夜景の撮影ツアーについて、新型コロナウイルス感染症流行の状況下において、車両基地見学会は中止、夜景撮影ツアーは動画の配信のみにとどまるなど、例年通りの実施には至らなかった。今後は夜景撮影ツアーの動画配信のように、社会状況に合わせた集客に頼らないイベントの実施形態を考えていく必要がある。また、オンライン等の形態にあつての満足度の調査方法を考えていく必要がある。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>他施設や他事業とのコラボレーションや、昨年同様に地域資源を生かした事業を実施する等、今後も工夫して本市の魅力発信していく。令和3年度から工場夜景と阪神電車車両基地見学会を、文化振興担当より事業移管し、観光資源としてより一層本市の魅力発信していく。</p>								

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	0	280	238	令和3年度は当該事業に係る経費として、238千円を文化振興担当から流用
報償費		130	50	
負担金補助及び交付金		150	150	
旅費			38	
人件費 B	0	0	386	
職員人工数			0.05	
職員人件費			386	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	0	280	624	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	0	280	624	

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	あまがさき観光局補助金	761A	施策	14 魅力創造・発信	
根拠法令	—		展開方向	14-2 尼崎城をはじめとしたまちの多様な資源を活用し、市内外の人との交流の促進をめざし、観光地域づくりに取り組みます。	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度			平成30年度
会計	01 一般会計		行政の取組	14-2 観光地域づくりと市内外との交流促進	
款	35 商工費				
項	05 商工費				
目	35 観光費				
局	経済環境局	課	観光振興課	所属長名	海老原 美咲

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	「尼崎版観光地域づくり推進指針」及び「重点取組地域における尼崎版観光地域づくり戦略」に基づき、本市の魅力と価値を向上させ、訪日外国人旅行者を含む市内外からの観光客を呼び込むことで、「観光による地域の稼ぐ力の向上」を目指す。
事業概要	本市観光振興の核として、(一社)あまがさき観光局に補助金を交付し、地域の観光関係者や近隣自治体等と連携し、重点取組地域におけるにぎわいを創出するとともに、尼崎城を中心とした観光地域づくりの取組を推進していく。
実施内容	(一社)あまがさき観光局では、本市の観光地域づくりの中核機関として、地域の事業者や市民等と連携し、地域資源を活用した観光振興及び交流人口の増加を図ることを目的に、下記の事業を実施している。 1 観光地経営事業 流動調査、観光プラットフォーム会議の運営、国内外へのプロモーション活動等 2 にぎわい創出事業 重点取組地域の周遊促進、尼崎城、歴史博物館、城郭関係都市との連携 3 観光情報発信事業 公式サイト運営、様々な広告媒体を活用したPR、あまがさき観光案内所の運営、SNSによる情報発信強化

②事業成果の点検

目標指標	市内の観光客入込客数							単位	万人	
目標・実績	目標値	280.0	達成年度	令和4年度	平成30年度	242.5	令和元年度	259.7	令和2年度	136.3
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った) ・新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の観光客入込客数は目標を大きく下回った。 ・観光地経営事業では、民間人材の事業部長を中心に、市内宿泊事業者との連携を図るためのプラットフォームを立ち上げ、現場からの意見やアイデアを吸い上げる仕組みづくりを行った。 ・にぎわい創出事業では、市民をターゲットにした「あまがさき忍×人ツアー」の実施、あまがさき観光案内所の魅力向上コンテンツ(市内事業者紹介コーナー等)の開発、新たな土産物(あまらむね)の開発などを実施した。 ・観光情報発信事業では、公式サイトやSNSを活用した情報発信を行い、観光PRを行った。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・事業部長を中心に観光マネジメント機能を発揮し、観光地域関係者との連携を一層強化するとともに、DMO法人の登録に向けて必要な観光消費額調査やHPを活用したWebマーケティング等を行う必要がある。 ・地域の稼ぐ力を向上させるため、地域資源を活かした周遊性の向上を図るとともに、尼崎ならではの観光商品の開発に取り組む。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で観光客数が減少するなか、観光需要の回復に向け多様な関係者と連携を図りながら、ウィズコロナの時代に合った地域一体での観光地域づくりを推進するため、(一社)あまがさき観光局の補助を継続する。									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	72,126	70,673	83,590	
負担金補助及び交付金	72,126	70,673	83,590	
人件費 B	2,271	3,109	2,317	
職員人工数	0.29	0.40	0.30	
職員人件費	2,271	3,109	2,317	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	74,397	73,782	85,907	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金	25,000	4,326	0	地方創生推進交付金
市債				
その他				
一般財源	49,397	69,456	85,907	

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	観光地域づくり推進事業費	761B	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-2 尼崎城をはじめとしたまちの多様な資源を活用し、市内外の人との交流の促進をめざし、観光地域づくりに取り組みます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成30年度	行政の取組	14-2 観光地域づくりと市内外の交流促進
会計	01 一般会計			
款	35 商工費			
項	05 商工費			
目	35 観光費			
局	経済環境局	課	観光振興課	所属長名 海老原 美咲

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	本市のイメージを一新する歴史・文化を取り込んだ観光施策を、中心市街地である阪神尼崎駅周辺地区を中心に展開するとともに、地域資源を活かした観光振興を進め、交流人口の増加や経済活性化、シビックプライドの醸成につなげる。
事業概要	地域資源を活かした観光振興を地域一体で進め、地域の稼ぐ力・まちの魅力と価値の向上、シビックプライドの醸成を図るため、関係者等と連携しながら、マーケティングやプロモーションなど観光地域づくりの取組を推進する。
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 尼崎城関連事業(みんなが尼崎城主寄附) みんなの尼崎城基金条例に基づき基金を募り、シビックプライドの醸成を図る。 2 阪神間日本遺産認定申請準備事業 日本酒をテーマとした日本遺産の認定を目指し、阪神間の各自治体と連携し、まちの魅力向上に努める。 3 にぎわいづくり事業 開明庁舎の一部空き床を活用して、来訪者が周遊時に休憩できるカフェやイベントスペースを設置する。 <p>令和2年度は上記1~3のほか、ひょうご観光本部等の負担金を支出した。また、開明庁舎の維持管理のため樹木剪定をはじめとする各種業務委託を行った。</p>

②事業成果の点検

目標指標	市内の観光客入込客数	単位	万人
目標・実績	目標値 280.0	達成年度	令和4年度 平成30年度 242.5
		令和元年度	259.7
		令和2年度	136.3
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の観光客入込客数は目標を大きく下回った。 ・「みんなが尼崎城主寄附」には、40件1,257千円が集まった。 ・令和2年6月に『伊丹諸白』と『灘の生一本』下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷が日本遺産に認定され、日本遺産を通じた地域の活性化を目的とする阪神間日本遺産推進協議会が設立された。協議会ではPRツール作成や連携事業等に取り組んだ。 ・開明庁舎の「なないろカフェ」に、新型コロナウイルス感染症防止対策及び地域の周遊拠点化にむけたウッドデッキとテイクアウト窓口を整備した。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係部署や関係団体等が連携し、地域一体となって「(仮称)ミーツ・アートinあまがさき」や「尼子騷兵衛展」等、来訪者獲得及び周遊促進の取組を展開する。 ・尼崎城の魅力向上のため、基金を活用した展示の充実を図る。 ・認定された日本遺産については、その認定要素である阪神間固有の歴史文化や魅力を、構成自治体と連携して国内外へ戦略的に発信するとともに、本市への来訪者の獲得を図っていく。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で観光客数が減少するなか、多様な関係者と連携を図りながら、マーケティングやプロモーションなど、ウィズコロナの時代に合った観光地域づくりを促進していく。 		

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	4,540	21,357	30,154	
委託料	514	8,537	13,065	開明庁舎各種業務委託等
使用料及び賃借料	553	1,128	1,367	JR尼崎駅観光コーナー賃料等
工事請負費	2,413	7,357	0	開明庁舎ウッドデッキ整備
負担金補助及び交付金	800	300	10,800	ひょうご観光本部負担金等
その他	260	4,035	4,922	需用費、役務費
人件費 B	3,916	3,498	7,104	
職員人工数	0.50	0.45	0.92	
職員人件費	3,916	3,498	7,104	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	8,456	24,855	37,258	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金		7,357		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国10/10)
市債				
その他		2,072	12,598	開明庁舎電話料等実費弁償金等
一般財源	8,456	15,426	24,660	

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	尼崎城魅力向上事業費	8W55	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-2 尼崎城をはじめとしたまちの多様な資源を活用し、市内外の人との交流の促進をめざし、観光地域づくりに取り組みます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和2年度	行政の取組	14-2 観光地域づくりと市内外の交流促進
会計	01 一般会計			
款	40 土木費			
項	30 都市計画費			
目	25 公園費			
局	経済環境局	課	観光振興課	所属長名 海老原 美咲

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	尼崎城は、多くの人々が来て見て触って楽しみながら歴史に触れる施設で、地域への周遊を促し、交流人口の増加を図る核となるものであり、尼崎城に継続して来場者が訪れるよう、尼崎城の魅力向上につながる展示等の充実を図る。
事業概要	平成31年3月29日の尼崎城一般公開から、運営していくなかで発生する問題や課題、改善点に適切に対応し、より多くの利用者の満足度を上げ、尼崎の魅力発信及びシビックプライドの醸成に努める。
実施内容	<p>1 床面映像の追加・更新 (一社)あまがさき観光局が作成した市内観光資源の動画を、尼崎城1階のまちあるきゾーンに追加して放映することにより、観光資源の発信に努める。</p> <p>2 VRシアターの字幕対応 尼崎城で放映しているVRシアターに字幕を追加することにより、聴覚障害者をはじめとする多様な来訪者向けの対応体制を整え、尼崎城と本市の更なる魅力向上及び情報発信を行う。</p>

②事業成果の点検

目標指標	市内の観光客入込客数のうち、尼崎城有料入場者数							単位	万人	
目標・実績	目標値	R1 15.7 R2 ~ 10.5	達成年度	令和4年度	平成30年度	—	令和元年度	14.6	令和2年度	2.8
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、尼崎城有料入場者数は目標を大きく下回った。 ・床面映像の更新により、観光資源の発信に努めた。 ・VRシアターに字幕を追加し、多様な来訪者向けの対応体制を整え、更なる魅力向上と情報発信を行った。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史博物館や尼信会館と一体となって歴史文化を発信し、誘客を図っていくうえで、本市が有する歴史資料や、連携する他市から資料を借用できるよう、尼崎城天守内に展示ケースを設置して、展示環境の充実を図る。 ・尼崎城のライトアップ照明に、カラーチェンジが可能な設備を設置する。 ・城址公園北側の堀に仮設ステージを設置し、新能などのイベントを開催することで、公園利用者の利便性向上と尼崎城天守の来場者増を目指す。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	0	3,498	4,380	
委託料		3,498	1,380	尼崎城映像展示更新業務委託
備品購入費			3,000	
人件費 B	0	1,166	772	
職員人工数		0.15	0.10	
職員人件費		1,166	772	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	0	4,664	5,152	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金		298		ひょうご地域創生交付金
市債				
その他		3,200	4,380	みんなの尼崎城基金繰入金
一般財源	0	1,166	772	

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	尼崎市文化振興財団補助金等	1F1A	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-3 まちの魅力と活力を高めるため、地域の文化資源の活用を促進するとともに、新たな文化芸術活動の担い手を育成します。
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 昭和49年度	行政の取組	14-3 新たな魅力づくりによる文化振興
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	63 文化振興費			
局	総合政策局	課 文化振興担当	所属長名	松長 昌男

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	優れた文化芸術に親しむ機会の提供や豊かな市民文化活動の推進を図るため、市民文化活動の拠点施設である尼崎市総合文化センターを運営する尼崎市文化振興財団に対し、ホール管理費・文化事業費等の補助金を交付することで、良質な文化芸術に触れる機会を提供し、市民が文化芸術に親しんでいる状態を目指す。
事業概要	本市文化振興の中核を担う尼崎市文化振興財団に補助金を交付し、文化の向上発展を図る。
実施内容	<p>優れた文化芸術に親しむ機会の提供や豊かな市民文化活動の推進を図るため、以下の事業を実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> 運営事業費補助(財団職員人件費・ホール管理費・文化事業費(美術展、団体育成)) 財団の管理運営にかかる経費の一部を補助することにより、継続的・安定的な経営を図る。 文化振興事業(市展・ふれあいギャラリー・文芸祭・市民芸術賞・文化功労賞・尼崎薪能・新人お笑い大賞) (※歌舞伎公演、富松薪能、演劇祭は新型コロナウイルス感染予防のため中止) 郷土画家「白髪一雄」作品発信事業 作品を広く一般に公開するとともに、市内の小学校等を対象にアウトリーチ事業を実施 ちかまつ等関係事業(近松ナウ・近松祭・近松賞) 「近松ナウ」、「近松祭」の実施を支援し、「近松のまち・あまがさき」をPRするとともに、「近松賞」は第7回受賞作品の公演を実施した。 施設整備 利用者等の安全を確保するとともに、事故の未然防止、事業の円滑な実施、耐震化・老朽化等への対応のための施設・設備更新工事等(サーモセンサーの設置、衛生用品の購入、コンテンツ配信用機材の購入) 市所蔵美術品のデータベース作成 市所蔵の美術品の今後の活用を見据えて、作品の概要等をデータベース化し、かつ、新型コロナウイルス感染症の影響により失業した人等に対する短期の雇用・就業機会の創出・提供のため実施した。

②事業成果の点検

目標指標	尼崎市総合文化センター入場者数 (適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	人		
目標・実績	目標値	450,000	達成年度	令和4年度	平成30年度	364,000	令和元年度	348,000	令和2年度	79,000
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合文化センターにおいて、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら、音楽・バレエ・演劇・古典芸能などのホール事業、白髪一雄記念室をはじめとする美術展事業、市展や文芸祭等の文化振興事業などを実施し、市民の文化芸術に触れる機会を提供した。 本市の文化振興を推進していくため、尼崎市文化振興財団の機能強化、文化事業の今後の展開や総合文化センターのあり方について整理を進めるとともに、施設の耐震化等を進めていくために施設の整備内容等について引き続き市と財団とで連携し、協議・検討を行う必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化振興の推進について、尼崎市文化ビジョンに基づく文化事業の今後の展開や、市と尼崎市文化振興財団の役割、同財団の効率的・効率的な運営について整理・検討を進め、総合文化センターの入場者数の増加へ繋げる。 総合文化センターの耐震化等の着手に向け、整備内容や手法、指定管理者制度導入について検討・調整を進める。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	294,891	287,896	261,113	
委託料	469	1,415	482	
負担金補助及び交付金	294,422	286,481	260,631	
人件費 B	5,874	6,452	3,012	
職員人工数	0.75	0.83	0.39	
職員人件費	5,874	6,452	3,012	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	300,765	294,348	264,125	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金	5,326	2,568		R1文化芸術振興費補助金(1/2以内)、R2新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国10/10)
市債				
その他	1,947		5,873	市町村振興協会市町交付金
一般財源	293,492	291,780	258,252	

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	郷土画家「白髪一雄」発信プロジェクト 事業費	1F1C	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-3 まちの魅力と活力を高めるため、地域の文化資源の活用を促進するとともに、新たな文化芸術活動の担い手を育成します。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和元年度	行政の取組	14-3 新たな魅力づくりによる文化振興
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	63 文化振興費			
局	総合政策局	課	文化振興担当	所属長名 松長 昌男

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	海外でも評価の高い白髪氏の作品や、本市に所縁の深い人物として白髪氏の人物像を継続して全国にプロモーションしていき、広く周知に取り組む。
事業概要	全国の美術館で本市とゆかりの深い白髪氏の作品の展覧会を行うことにより、本市の魅力をプロモーションする。
実施内容	<p>白髪一雄発信プロジェクトとして、高松市美術館と本市の主催で、展覧会「高松市美術館コレクション+ (プラス) 身体とムービング」を行った。また、ニューヨークのギャラリー、ファーガス・マカフリーのウェブサイト上のバーチャル美術館において開催された展覧会『FMバーチャル白髪一雄展「水滸伝豪傑シリーズ」オンライン展覧会』において、画像提供した。</p> <p>高松市美術館 令和2年7月23日～9月6日 本市が所有する作品および寄託を受けている関連資料、市民が所有する作品などを17点展示</p> <p>ファーガス・マカフリー 令和2年7月15日～10月24日 本市が所有する作品2点の画像を提供</p>

②事業成果の点検

目標指標	展覧会の入館者数(累計) (適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	人		
目標・実績	目標値	18,000	達成年度	令和3年度	平成30年度	—	令和元年度	31,142	令和2年度	33,928
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高松市美術館での展覧会は2,786人が来館し、多くの人に白髪一雄氏の作品を鑑賞してもらった。白髪氏の作品展示とあわせて、本市との関係についての紹介もされ、本市に所縁の深い人物としてプロモーションできた。 ファーガス・マカフリーのウェブサイト上のバーチャル美術館での展覧会は、誰でも無料で見られるものとなっており、キャプションの英語翻訳もされた。キャプションでは、発信プロジェクトを紹介してもらい、全国のみならず海外へもプロモーションできた。 令和元年度に開催した東京オペラシティでの展覧会を見た作家がインスピレーションを受け、白髪氏の絵を自身の単行本の表紙に引用したり、ファッションメーカーが、メンズ服のデザインに白髪氏の絵を取り入れたりするなど、広い分野のプロモーションに繋がっている。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>今後も引き続き、全国の美術館で白髪氏の作品の展覧会を行うことにより、本市の魅力をプロモーションしていく。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、美術館との交渉がしづらい状況が続くが、展覧会に限らず発信できる場を探していく。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	2,996	1,415	2,800	
旅費	196	137		
委託料	2,800	1,278	2,800	作品の搬出入に係る業務委託(文化振興財団)
人件費 B	1,925	1,788	1,776	
職員人工数	0.23	0.23	0.23	
職員人件費	1,801	1,788	1,776	
嘱託等人件費	124			
合計 C(A+B)	4,921	3,203	4,576	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他	2,996	1,415	2,800	文化振興基金
一般財源	1,925	1,788	1,776	

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	文化団体育成補助金	1F1D	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-3 まちの魅力と活力を高めるため、地域の文化資源の活用を促進するとともに、新たな文化芸術活動の担い手を育成します。
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 昭和40年度	行政の取組	14-3 新たな魅力づくりによる文化振興
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	63 文化振興費			
局	総合政策局	課	文化振興担当	所属長名 松長 昌男

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付し、多彩で創造的な文化活動の促進を図る。
事業概要	尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付する。
実施内容	<p>市内で活動している文化団体17団体間の連携と協調を図るとともに、地域文化の向上を図るため、尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付する。(うち1団体は令和2年度より活動休止のため補助金を支払わず、2団体については事業を実施しなかったため返金対応となった。)</p> <p>【構成団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎ピアノ音楽協会 ・尼崎市囲碁協会 ・尼崎市合唱連盟 ・尼崎邦舞協会 ・尼崎川柳協会(令和2年度は活動休止) ・尼崎吟詠協会 ・尼崎皇月協会 ・尼崎市合奏連盟(返金) ・尼崎市吹奏楽連盟 ・尼崎マンドリン・ギター協会 ・尼崎民謡民舞連合協会(返金) ・尼崎能楽会 ・尼崎市オーケストラ協会 ・尼崎邦楽文化協会 ・尼崎市菊花協会 ・尼崎俳句協会 ・尼崎洋舞家協会 <p>(16団体 順不同)</p>

②事業成果の点検

目標指標	尼崎市文化団体協議会への加盟団体数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	団体	
目標・実績	目標値	25	達成年度	毎年度	平成30年度	18	令和元年度	17	令和2年度	16
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず)</p> <p>会員の高齢化や新規加入者の減少により解散、退会する団体が続く、目標は達成できていないが、文化活動を行っているそれぞれの組織が、文化団体協議会への加盟を通じて、尼崎新能への協力など連携や協調を図り、多種多様な文化事業を行った。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・文化団体自身が単に自立的な活動としてだけでなく、他団体との連携や協調を図りながら活動することで、市民の文化振興に寄与していく。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	67	60	64	
負担金補助及び交付金	67	60	64	
人件費 B	255	265	254	
職員人工数	0.01	0.02	0.02	
職員人件費	78	155	154	
嘱託等人件費	177	110	100	
合計 C(A+B)	322	325	318	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	322	325	318	

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	若者の夢創造・発信事業費	1F1E	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-3 まちの魅力と活力を高めるため、地域の文化資源の活用を促進するとともに、新たな文化芸術活動の担い手を育成します。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成25年度	行政の取組	14-3 新たな魅力づくりによる文化振興
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	63 文化振興費			
局	総合政策局	課 文化振興担当	所属長名	松長 昌男

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	「尼崎市文化ビジョン」に基づき、若者の夢とチャレンジを応援する事業を実施することで、地域文化を創造する次代の担い手を育成するとともに、まちの魅力を増進する。
事業概要	本市の魅力や地域資源を活用しながら、若い人の夢やチャレンジを応援することを目的とした事業を行う。
実施内容	<p>1 ティーンズサポート事業 若者に本物の音楽や舞台などの芸術にふれる機会を提供するため、尼崎市文化振興財団等が実施する公演等を若年層が500円で鑑賞できる「ティーンズサポートチケット」のPRを行った。(応募者数25人)</p> <p>2 尼崎落研選手権 本市には多くのお笑いタレント・落語家が在住し、地域寄席が市内各地で開催されていることから、「お笑い」落語も地域資源の一つであると捉え、「尼崎落研選手権」を開催。(参加大学5大学、来場者59人)</p> <p>3 あまらぶアートラボ運営事業 若手アーティストの発表・創作の場として若い人の夢やチャレンジを応援するという取組で、展覧会やワークショップなどを開催。展覧会5回(参加者数3,556人)、出展作家によるライブドローイングの実施、配信を24回(視聴回数570回)、無人ワークショップを1回、動画配信によるワークショップを11回(視聴回数6,290回)、トークイベントを同時ライブ配信、オンライン配信を3回(視聴回数691回)、A-Lab@Homeコンサートと題してマンションのベランダから音楽鑑賞ができるイベントを2回(視聴者数720世帯)。</p> <p>4 文化未来奨励賞 芸術性の高い優秀な作品などを創作し、全国規模の活動を展開している本市ゆかりの若手芸術家を顕彰。令和2年度は有識者の推薦及び公募による自薦・他薦合わせ9名の応募があり、作曲家の高木日向子氏を第3回の受賞者として決定した。また第2回受賞者である山村貴司氏によるワークショップを3回、発表を2回開催、参加者119人。</p> <p>5 公開レッスン・コンサート事業 世界的指揮者大植氏が市内高校の吹奏楽部を対象に、公開レッスンコンサートを開催。(来場者364人)後日、当日の様子を撮影・編集したものを配信した。(視聴回数1,646回 令和3年6月9日現在)</p>

②事業成果の点検

目標指標	若者支援を対象にした文化芸術事業への参加者数	単位	人										
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>4,950</td> <th>達成年度</th> <td>令和4年度</td> <th>平成30年度</th> <td>4,369</td> <th>令和元年度</th> <td>4,763</td> <th>令和2年度</th> <td>4,843</td> </tr> </table>	目標値	4,950	達成年度	令和4年度	平成30年度	4,369	令和元年度	4,763	令和2年度	4,843		
目標値	4,950	達成年度	令和4年度	平成30年度	4,369	令和元年度	4,763	令和2年度	4,843				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <p>1 ティーンズサポート事業 新型コロナウイルス感染拡大のため多くの公演が中止となり参加者が減少した。 2 尼崎落研選手権 新型コロナウイルス感染症対策のため事前予約制で受付を行い、59人が来場した。 3 あまらぶアートラボ運営事業 新型コロナウイルス感染症流行の状況下において、A-Labの展覧会参加者数が増加したほか、動画配信によるオンラインでのワークショップやトークイベントを実施し、場所にとらわれず文化芸術に触れる機会を提供できた。 4 文化未来奨励賞 若手芸術家を顕彰し受賞者による発表等を開催するなど若者の夢とチャレンジを応援できた。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善) 文化未来奨励賞、令和3年度より創設された白髪一雄現代美術賞について、多くの応募があるよう広く周知する。今後も継続して、本市の魅力や地域資源を活用しながら、若者の夢やチャレンジを応援する事業を行う。</p>												

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	22,103	23,560	25,521	
報償費	5,930	5,352	6,051	展示会開催、審査員等謝礼
需用費	2,000	1,472	2,387	A-lab施設維持管理経費等
委託料	12,963	15,502	15,643	A-lab運営委託費等
使用料及び賃借料	1,118	1,134	1,124	レッスンコンサート会場使用料等
その他	92	100	316	役員費、旅費等
人件費 B	13,791	13,133	14,827	
職員人工数	1.46	1.65	1.80	
職員人件費	11,435	12,825	13,900	
嘱託等人件費	2,356	308	927	
合計 C(A+B)	35,894	36,693	40,348	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他	1,035	1,049	1,042	文化振興基金、庁舎電話料等実費弁償金
一般財源	34,859	35,644	39,306	

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	尼子騷兵衛作品等資料収集・調査・活用事業費	1F1G	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-3 まちの魅力と活力を高めるため、地域の文化資源の活用を促進するとともに、新たな文化芸術活動の担い手を育成します。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和2年度	行政の取組	14-3 新たな魅力づくりによる文化振興
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	63 文化振興費			
局	総合政策局	課	文化振興担当	所属長名 松長 昌男

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	全国へ尼崎の魅力・地域資源を発信し、市民にまちの魅力として誇りに感じてもらうシビックプライドの醸成を目的とする。
事業概要	尼崎市出身・在住で、人気アニメ「忍たま乱太郎」の原作者である尼子騷兵衛氏の事務所から寄贈・寄託を受ける作品・資料を保存・整理・活用する。
実施内容	<p>尼子騷兵衛氏がこれまでに制作した原画や、アニメ「忍たま乱太郎」のセル画・台本、忍者道具コレクションなど、尼子事務所が所蔵している作品や資料を一括して寄贈・寄託を受けるため、それらのリストを作成し整理してきた。(令和2年度に寄贈・寄託を受ける予定だったが、資料の数が膨大になり、令和3年度も引き続き作品や資料のリストを作成し整理する。)</p> <p>また、尼子騷兵衛氏のこれまでの画業を総合的に紹介する全国で初めての「尼子騷兵衛展」は新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度に延期となった。(令和3年7月17日～9月26日)</p> <p>(参考) あまがさき観光案内所に常設展「尼子騷兵衛オリジナルピクチャーコレクション」を設置 (第1回展示: 令和3年2月20日～4月30日、まちの魅力発信事業として実施、期間内観光案内所利用客数 3,240人)</p>

②事業成果の点検

目標指標	展示会の入館者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	人								
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>8,000</td> <th>達成年度</th> <td>令和3年度</td> <th>平成30年度</th> <td>—</td> <th>令和元年度</th> <td>—</td> </tr> </table>	目標値	8,000	達成年度	令和3年度	平成30年度	—	令和元年度	—	令和2年度	—
目標値	8,000	達成年度	令和3年度	平成30年度	—	令和元年度	—				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼子氏の作品・資料を寄贈・寄託にむけての資料整理については、リスト化している点数は29,664点(令和3年3月末時点)。 ・尼子騷兵衛展は令和3年度に延期となったが、開催に向けての準備として、実行委員会への負担金320,000円を支出した。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼子事務所から預かる作品・資料は、今後も増加することが予想されるが、令和3年度中に一度区切りをつけて寄贈・寄託の手続きを行う。 ・尼子騷兵衛展は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮しながら、感染予防対策を講じつつ、令和3年7月17日～9月26日で開催している。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	0	524	5,151	
旅費		204	145	
負担金補助及び交付金		320	5,006	
人件費 B	0	6,678	12,039	
職員人工数		0.39	1.06	
職員人件費		3,031	8,185	
嘱託等人件費		3,647	3,854	
合計 C(A+B)	0	7,202	17,190	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	0	7,202	17,190	

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	芸術文化公演再開緊急支援事業補助金	1F1H	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	尼崎市芸術文化公演再開緊急支援事業実施要領		展開方向	14-3 まちの魅力と活力を高めるため、地域の文化資源の活用を促進するとともに、新たな文化芸術活動の担い手を育成します。
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 令和2年度		
会計	01 一般会計		行政の取組	14-3 新たな魅力づくりによる文化振興
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	63 文化振興費			
局	総合政策局	課 文化振興担当	所属長名	松長 昌男

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により縮小となっている芸術文化活動の早期の復興と飛躍に繋げていくため、「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を遵守し、適切な感染症防止対策を講じながら劇場・音楽堂での舞台芸術活動を再開する取組を支援する。
事業概要	県と協調して、市内文化施設(総合文化センター及び県立尼崎青少年創造劇場)に対し、施設利用料の減免補助を実施する。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 対象施設及び公演 総合文化センターアルカイクホール及びアルカイクホール・オクト、県立尼崎青少年創造劇場大ホールで実施される、舞台芸術の公演及び練習(施設主催事業を除く) 対象期間 令和2年7月1日～令和3年2月28日 減免内容 施設使用料の1/2相当額(1日500千円を上限) 補助割合 市立・民間施設: 県1/4、市1/4、公演主催者1/2 県立施設(中核市): 県3/8、市1/8、公演主催者1/2 実績 総合文化センター 3,905,870円(46件) 県立尼崎青少年創造劇場 196,444円(21件)

②事業成果の点検

目標指標	—(適切な成果指標及び活動指標の設定は困難)							単位	—		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	平成30年度	—	令和元年度	—	令和2年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <p>市内文化施設(総合文化センター及び県立尼崎青少年創造劇場)に対し、「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を遵守して芸術文化公演等を実施したため、施設利用料の減免補助を実施した。 (補助率) 総合文化センター: 1/4補助、県立尼崎青少年創造劇場: 1/8補助</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 廃止)</p> <p>本事業は新型コロナウイルス感染症への対応として、県と協調して実施した単年度事業である。しかし、今後も感染拡大による影響は大きいと思われるため、次年度以降も国や県と協調した芸術文化活動への支援を検討していく。</p>										

③事業費

(単位: 千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	0	4,102	0	
負担金補助及び交付金		4,102		
人件費 B	0	0	0	新型コロナウイルス感染症対応関連
職員人工数				
職員人件費				
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	0	4,102	0	
Cの財源内訳		4,102		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国10/10)
国庫・県支出金		4,102		
市債				
その他				
一般財源	0	0	0	

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	史料館紀要発行事業費	161K	施策	14 魅力創造・発信	
根拠法令	尼崎市立歴史博物館の設置及び管理に関する条例		展開方向	14-4 まちの歴史をともに学びあえるよう、文化財や歴史資料等の保存や学習機会の充実に取り組みます。	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			昭和46年度
会計	01 一般会計		行政の取組	14-4 歴史遺産等の保存と活用	
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	40 地域研究史料館費				
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	伊元 俊幸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	研究紀要を編集・刊行し、市民・研究者等に研究発表の場を提供する。紀要の刊行・活用により、市民の地域の歴史・文化に対する理解を助け、市民等との協働による地域資源の保存・活用に資する。
事業概要	尼崎及び歴史的関連地域に関する論文、回想、史料紹介などを掲載した紀要『地域史研究』を編集・刊行する。
実施内容	<p>[事業推移]</p> <p>昭和46年度 史料館紀要『地域史研究』創刊 令和2年度第120号(歴史博物館開館記念号)刊行</p> <p>[刊行物の概要]</p> <p>A5判 本文平均200ページ 600部刊行 尼崎及び歴史的関連地域に関する論文、史料紹介などを掲載 学校・図書館等市内公共施設、各地の公文書館・博物館等専門機関に配布または刊行物交換。希望者には有償頒布。</p> <p>[令和2年度実績]</p> <p>紀要年間販売冊数123冊(過去刊行の在庫販売を含む)</p>

②事業成果の点検

目標指標	紀要販売件数と、史料館相談利用において紀要を活用した件数の合計 (適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	件		
目標・実績	目標値	320	達成年度	毎年度	平成30年度	209	令和元年度	120	令和2年度	149
事業成果 (達成状況等)	<p>[成果と課題](目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度刊行の第120号を歴史博物館開館記念号とし、博物館をカラーグラビア等により紹介しアピールした。 執筆陣は多彩であり、また市民からの寄稿数も多く、市民・研究者等の研究発表の場としての役割を果たしている。 新型コロナウイルス感染拡大予防及び地域研究史料館の歴史博物館への移転・統合のための半年間閲覧利用を停止したことにより、相談利用における紀要活用実績、販売実績ともに振るわず目標件数に至らなかった。 <p>[今後の取組方針](事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、最新の調査研究成果の掲載など学術的かつ魅力ある誌面づくりに取り組むとともに、展示・講座企画との連動やSNS等を通じての広報、情報発信、販売・活用の促進に努める。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	474	493	0	
報償費	160	110		原稿料
需用費	211	383		印刷製本費等
使用料及び賃借料	103			
				令和3年度からあまがさきアーカイブズ推進事業費へ移管
人件費 B	5,239	5,035	0	
職員人工数	0.40	0.43		
職員人件費	3,133	3,207		
嘱託等人件費	2,106	1,828		
合計 C(A+B)	5,713	5,528	0	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他	224	216		市史等頒布実費弁償金
一般財源	5,489	5,312		

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	史料等整備事業費	162A	施策	14 魅力創造・発信	
根拠法令	公文書館法、尼崎市立歴史博物館の設置及び管理に関する条例			展開方向	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	昭和50年度		
会計	01 一般会計			行政の取組	
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	40 地域研究史料館費				
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	伊元 俊幸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	公文書館法の定めるところにより、市の歴史的公文書や古文書等歴史資料を市民共有の地域資源として収集・保存・公開し、市民の利用に供していく。これにより、市民の地域への理解・関心・愛着をはぐくみ、協働による地域づくり、市民社会の実現に資する。
事業概要	尼崎市の歴史的公文書等歴史資料を収集・整理・保存し後世に伝え、市民・研究者等に公開し、活用を図る。
実施内容	<p>[令和2年度末現在、史料所蔵点数] 歴史的公文書19,699冊 古文書・近現代文書類2,651件 152,141点 その他史料含む所蔵点数合計327,503点</p> <p>[令和2年度の整理・公開作業] 例年廃棄の歴史的公文書選別・収集及び、件名目録データ整備 Web上における古文書類他史料目録データ公開の拡充 市民ボランティアによる整理作業の実施 ボランティア作業実績78回 のべ84人 (令和元年度実績:305回 のべ403人)</p>

②事業成果の点検

目標指標	年間相談利用人数 (適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	2,345	達成年度	令和4年度	平成30年度	2,330	令和元年度	1,907	令和2年度	1,623
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず) ・新型コロナウイルス感染症拡大予防及び地域研究史料館の歴史博物館への移転・統合のため半年間閲覧業務を休止したことから、目標数に至らなかった。 ・令和2年度中の新規受入史料点数は約960点であり、約650点を年度中に整理・公開した。史料整理・見直し及びデジタル・アーカイブ化に向けたデータ整備をボランティアと協働して進めた。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・デジタル・アーカイブ化の準備をボランティアと協働し進めるとともに、アーカイブズ(公文書館機能)の認知度を高め、相談利用につなげるため、ウェブ活用等による新たな情報発信に取り組む。 ・史料の保管スペースの確保に努め、史料の整理・見直しを継続する。 ・公文書管理条例制定に向けて歴史的公文書整理・閲覧公開の検討・準備を進める。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	338	631	0	
需用費	247	300		史料購入
委託料	91	186		史料デジタル化
備品購入費		145		史料購入
人件費 B	21,800	20,677	0	令和3年度からあまがさきアーカイブズ推進事業費へ移管
職員人工数	1.06	0.93		
職員人件費	8,302	6,551		
嘱託等人件費	13,498	14,126		
合計 C(A+B)	22,138	21,308	0	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	22,138	21,308		

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	文化財保護啓発事業費	BZ31	施策	14 魅力創造・発信	
根拠法令	文化財保護法、尼崎市文化財保護条例		展開方向	14-4 まちの歴史をとともに学びあえるよう、文化財や歴史資料等の保存や学習機会の充実に取り組みます。	
事業分類	法定事業(裁量含む)	事業開始年度			昭和39年度
会計	01 一般会計		行政の取組	14-4 歴史遺産等の保存と活用	
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	05 社会教育総務費				
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	伊元 俊幸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	長い歴史を有する本市に多数現存している史跡・文化財を市民共有の財産として保護・活用していく。埋蔵文化財については、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業に際し、事業者や関係部局との連絡・調整を密にして、保護・活用を図る。
事業概要	遺跡の発掘調査を実施するとともに、遺跡から出土した土器等を学習教材として活用した出張授業や、出土資料の整理作業を学芸員と協働で行うボランティアの養成等を行うことにより、文化財の保護・啓発に努める。
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会 出土遺物保存処理事業 市内遺跡発掘調査事業 遺跡調査システム導入事業 国指定文化財管理事業・消火設備整備事業補助金 文化財の啓発 <ul style="list-style-type: none"> 田能遺跡顕彰事業 ドキ・土器ふれあい講座事業 文化財保存活用サポートボランティア養成事業

②事業成果の点検

目標指標	指定文化財の毀損・滅失・解除数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	件										
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>0</td> <th>達成年度</th> <td>毎年度</td> <th>平成30年度</th> <td>0</td> <th>令和元年度</th> <td>0</td> <th>令和2年度</th> <td>0</td> </tr> </table>	目標値	0	達成年度	毎年度	平成30年度	0	令和元年度	0	令和2年度	0		
目標値	0	達成年度	毎年度	平成30年度	0	令和元年度	0	令和2年度	0				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度において国・県・市指定文化財とも毀損・滅失・解除はなかった。 新たに市指定文化財を2件指定した。 本興寺の国指定重要文化財の消火設備整備等に対して補助金を交付した。 埋蔵文化財については、法令に基づき適切に対応した。 文化財啓発事業については、コロナ禍の影響により中止・縮小せざるを得なかった。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財保護法改正等による文化財行政の複雑多様化や、埋蔵文化財の調査等に継続的かつ着実に対応していくことが求められており、文化財保護体制を充実させていく必要がある。 												

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	5,057	18,323	0	
需用費	594	977		発掘用品等
委託料	2,458	2,713		市内遺跡発掘調査作業委託等
使用料及び賃借料	1,328	1,328		遺跡調査システムリース料
負担金補助及び交付金	639	13,279		国指定文化財管理事業補助金等
その他	38	26		ボランティア保険料等
人件費 B	38,576	38,114	0	
職員人工数	3.95	3.96		令和3年度から18日歴史博物館費へ移管、また、一部事業については歴史博物館教育普及事業費へ移管
職員人件費	28,849	27,935		
嘱託等人件費	9,727	10,179		
合計 C(A+B)	43,633	56,437	0	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金	3,750	3,750		埋蔵文化財緊急発掘調査事業費補助金
市債				(国1/2、県1/4)
その他	5	9		市政資料等頒布収入
一般財源	39,878	52,678		

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	歴史遺産を活かしたまちの魅力再発見事業費	BZ33	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-4 まちの歴史をともに学びあえるよう、文化財や歴史資料等の保存や学習機会の充実に取り組めます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成26年度	行政の取組	14-4 歴史遺産等の保存と活用
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	05 社会教育総務費			
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名 伊元 俊幸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	まちづくりの核となる歴史遺産を活かした市民との協働のまちづくりを展開し、情報発信することで、市民の地域への愛着を醸成し、尼崎の魅力を高める。
事業概要	戦国時代の城館の土塁が現存する富松城跡の保存・活用を市民との協働で進めるとともに、地域学習の素材として積極的に活用していくための取組を進め、歴史遺産の保存・活用に向けた市民の気運を盛り上げていく。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○富松城跡の土地管理 <ul style="list-style-type: none"> ・所在地: 尼崎市富松町2丁目409番、412番 ・面積: 1315.74㎡ ○富松城跡を活かすまちづくり委員会との連絡調整

②事業成果の点検

目標指標	事業の参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	100	達成年度	毎年度	平成30年度	69	令和元年度	72	令和2年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度はコロナ禍の影響により市民対象事業は実施できなかった。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市有地化した富松城跡での歴史遺産の保存・活用の取り組みを継続的に進めると共に、富松城跡での実践例を、市内に所在する他の歴史遺産にも活用していくことができるよう取り組んでいく必要がある。 									

③事業費

(単位: 千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考) 令和3年度予算	備考
事業費 A	151,040	50	0	
需用費	40	50		事務用消耗品
公有財産購入費	151,000			富松城跡土地購入費
				令和3年度から文化財保護啓発事業費へ移管
人件費 B	1,950	1,867	0	
職員人工数	0.32	0.31		
職員人件費	1,950	1,867		
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	152,990	1,917	0	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	152,990	1,917		

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	文化財収蔵庫企画展事業費	BZ35	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-4 まちの歴史をともに学びあえるよう、文化財や歴史資料等の保存や学習機会の充実に取り組みます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成26年度	行政の取組	14-4 歴史遺産等の保存と活用
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	05 社会教育総務費			
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名 伊元 俊幸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	文化財収蔵庫が所蔵する資料を広く公開し、市民の尼崎の歴史や文化財への関心を高めるとともに、尼崎の魅力発信やシビックプライドの醸成に資する。
事業概要	文化財収蔵庫がリニューアル工事に伴い休館中のため、尼崎市総合文化センター美術ホールを会場に、文化財収蔵庫が所蔵する資料を活用した出張企画展を開催する。
実施内容	出張企画展「綿を紡ぐ・歴史を紡ぐ」 <ul style="list-style-type: none"> ・会期: 令和2年8月8日～8月30日 ・入場者数 848人 ・関連事業・・・展示解説37人、ワークショップ10人 ・会場 尼崎市総合文化センター 4階美術ホール

②事業成果の点検

目標指標	1日あたりの入館者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	56	達成年度	毎年度	平成30年度	69	令和元年度	52	令和2年度	42
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず) ・文化財収蔵庫が休館中のため、令和2年度は出張企画展1回だけの開催となったが、コロナ禍の中での開催となったこともあり、目標値には届かなかった。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善) ・令和2年10月10日に歴史博物館が開館し、自館で尼崎の歴史を紹介する常設展示と、会期を限って開催する特別展・企画展が開催できるようになったことから、当事業は令和3年度からは「歴史博物館展示事業費」へ引き継ぎ、尼崎の歴史や文化財を広くPRする展示活動を積極的に展開していく。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	846	509	0	
需用費	183	220		ポスター印刷等
委託料	300	289		展示資料運搬列品委託
使用料及び賃借料	363			展示会場使用料
人件費 B	1,801	1,632	0	令和3年度から歴史博物館展示事業費へ移管
職員人工数	0.23	0.21		
職員人件費	1,801	1,632		
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	2,647	2,141	0	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	2,647	2,141		

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	歴史資料保存公開事業費	BZ3N	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-4 まちの歴史をともに学びあえるよう、文化財や歴史資料等の保存や学習機会の充実に取り組みます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成13年度	行政の取組	14-4 歴史遺産等の保存と活用
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	05 社会教育総務費			
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名 伊元 俊幸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	歴史資料等の収集・保管を行うことにより地域資産の保存・活用を図る。また、市民との協働による体験学習活動を実施することにより、市民が尼崎の歴史に関心を持ち、地域の歴史に根差した文化活動の促進に寄与する。
事業概要	収集・保管している歴史資料を地域資産として保存し、展示会で公開するとともに、市民との協働による体験学習活動等を実施する。
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 歴史資料保存等関係事業 <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎の歴史にゆかりのある歴史資料等を寄贈・寄託等により収集し保管する。 令和3年3月末現在の資料収蔵状況…1,602件、27,327点 歴史資料公開活用事業 <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵する歴史資料等を公開する展示会を開催する。 令和2年度実績 むかしのくらし・むかしの小学校(1月9日～3月28日、歴史博物館)来場者: 9,729人 わくわく体験ミュージアム事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市民が郷土の歴史に関心を持ち、地域に根ざした文化活動の促進に寄与するため、地域の歴史に関わる各種体験学習活動等の教育普及事業を市民との協働で実施する。

②事業成果の点検

目標指標	収蔵資料数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)	単位	点											
目標・実績	<table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>達成年度</td> <td>—</td> <td>年度</td> <td>平成30年度</td> <td>27,168</td> <td>令和元年度</td> <td>27,200</td> <td>令和2年度</td> <td>27,327</td> </tr> </table>	目標値	—	達成年度	—	年度	平成30年度	27,168	令和元年度	27,200	令和2年度	27,327		
目標値	—	達成年度	—	年度	平成30年度	27,168	令和元年度	27,200	令和2年度	27,327				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民からの寄贈等による資料収集を行ってきたため収蔵資料は増加している。 ・コロナ禍の影響により、市民との協働による教育普及事業は縮小せざるを得なかった。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史博物館が開館したことに伴い、当事業は令和3年度より「歴史博物館資料保存事業費」「歴史博物館教育普及事業費」に引き継ぎ、歴史博物館資料の充実を図ると共に、市民との協働による教育普及事業を積極的に展開していく。 													

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	151,616	1,153	0	
需用費	12,804	239		ポスター印刷・資料購入等
役務費	4,947	821		資料保管料・保険料等
委託料	266			展示資料運搬列品委託
使用料及び賃借料		93		駐車場使用料
備品購入費	133,599			資料購入
人件費 B	8,533	4,897	0	
職員人工数	1.06	0.63		令和3年度から歴史博物館資料保存
職員人件費	8,302	4,897		事業費及び歴史博物館教育普及事
嘱託等人件費	231			業費へ移管
合計 C(A+B)	160,149	6,050	0	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	160,149	6,050		

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	特別展事業費	C21A	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-4 まちの歴史をともに学びあえるよう、文化財や歴史資料等の保存や学習機会の充実に取り組みます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 昭和46年度	行政の取組	14-4 歴史遺産等の保存と活用
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	20 資料館費			
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名 伊元 俊幸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	国史跡に指定されている田能遺跡にみられる弥生文化と他地域との関連・波及状況、弥生時代の人々の生活や技術・文化の発展などを紹介し、弥生文化の重要性について周知を図ることにより、文化財及び郷土文化に対する市民の関心を高める。
事業概要	田能資料館で、田能遺跡や弥生文化などをテーマとした特別展や企画展を開催する。
実施内容	<p>○特別展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館50周年記念特別展「田能遺跡の弥生人－田能家の人々－」 会期：令和2年11月3日～12月20日 観覧者数：5,795人 関連事業：展示解説会と「弥生時代のアクセサリーをつけよう」(3回) 参加者数26人 <p>○企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「弥生時代のくらし」(会期：令和2年5月21日～9月27日) 観覧者数：9,683人 関連事業：展示解説と「弥生時代の土器をさわってみよう」：中止

②事業成果の点検

目標指標	1日あたりの事業参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	140	達成年度	令和4年度	平成30年度	113	令和元年度	111	令和2年度	101
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況： やや達成できず)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、開催日数や関連事業を制限せざるを得ず、参加者数は目標値に至らなかった。こうしたなか、新たにSNSを活用して田能遺跡に関する情報発信や来館促進に努めた。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性： 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業参加者数の確保はもとより、より一層魅力ある内容の展覧会を開催することができるよう取り組んでいく必要がある。こうしたなか令和3年度は、田能資料館の開館50周年を経たことを機に、田能遺跡と弥生時代をテーマとした企画展の開催に取り組んでいく。 									

③事業費

(単位：千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	710	712	0	
需用費	217	217		ポスター印刷等
委託料	493	495		展示資料運搬列品業務
				令和3年度から田能資料館展示事業費へ移管
人件費 B	5,082	3,967	0	
職員人工数	0.20	0.04		
職員人件費	1,566	311		
嘱託等人件費	3,516	3,656		
合計 C(A+B)	5,792	4,679	0	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	5,792	4,679		

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	古代のくらし体験学習会事業費	C21K	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-4 まちの歴史をともに学びあえるよう、文化財や歴史資料等の保存や学習機会の充実に取り組めます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 昭和45年度	行政の取組	14-4 歴史遺産等の保存と活用
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	20 資料館費			
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名 伊元 俊幸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	弥生文化をより身近なものとして理解するため、古代のくらしを体験できる学習会を展開して弥生時代の人々の生活や技術・文化の発展に対する認識を新たに、市民の歴史学習を支援するとともに、文化財に対する関心を高める。
事業概要	田能資料館で、勾玉づくりや石の鍬づくりなどを体験する学習会を開催する。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ブローチづくり、ねんど勾玉づくり 開催日：11月21日、11月23日、3月20日 参加者：67人 ・弥生土器づくり・土器づくり 開催日：12月17日 参加者：10人 ・勾玉づくり(出張学習) 開催日：9月18日、10月2日 参加者20人

②事業成果の点検

目標指標	事業参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	300	達成年度	令和4年度	平成30年度	198	令和元年度	183	令和2年度	97
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況： 下回った)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策のため、事業実施を制限せざるを得ず、参加者数は目標値に至らなかった。こうしたなか、参加人数を減らしての実施や、換気等の配慮から屋外で事業を実施するなどの工夫に取り組んだ。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性： 維持)</p> <p>・弥生時代の生活文化を子どもから大人まで学べる貴重な体験学習の場の提供は、田能資料館が開館以来取り組んできた事業であり、今後とも継続的に実施していくことができるよう、田能遺跡サポーターとの協働も含めて取組を進めていく。</p>									

③事業費

(単位：千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	121	94	0	
報償費	94	67		講師謝礼
旅費	3	3		講師交通費
需用費	24	24		事業用消耗品
人件費 B	2,287	1,800	0	令和3年度から田能資料館教育普及事業費へ移管
職員人工数	0.09	0.02		
職員人件費	705	155		
嘱託等人件費	1,582	1,645		
合計 C(A+B)	2,408	1,894	0	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	2,408	1,894		

令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	田能遺跡サポーター養成事業費	C21P	施策	14 魅力創造・発信
根拠法令	—		展開方向	14-4 まちの歴史をともに学びあえるよう、文化財や歴史資料等の保存や学習機会の充実に取り組みます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成28年度	行政の取組	14-4 歴史遺産等の保存と活用
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	20 資料館費			
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名 伊元 俊幸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民共有の文化財である田能遺跡を後世に伝えていく活動の担い手として、田能遺跡サポーターを養成し、協働の取組を推進する。
事業概要	田能遺跡サポーターを養成し協働の取組を推進するため、事業のサポートや研修を行う。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、各種事業を実施できなかった。 (例年の実施内容) ・田能資料館と連携した各種事業の実施 小学校団体見学の指導補助 古代のくらし体験学習会事業の支援・協力 特別展・企画展関連事業の支援・協力 ・養成・研修活動 土器整理、団体見学・体験学習会事前研修等

②事業成果の点検

目標指標	参加人数(延べ)(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	人										
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>300</td> <th>達成年度</th> <td>令和4年度</td> <th>平成30年度</th> <td>125</td> <th>令和元年度</th> <td>219</td> <th>令和2年度</th> <td>79</td> </tr> </table>	目標値	300	達成年度	令和4年度	平成30年度	125	令和元年度	219	令和2年度	79		
目標値	300	達成年度	令和4年度	平成30年度	125	令和元年度	219	令和2年度	79				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、体験学習等の事業実施を制限せざるを得なかったことに伴い、ボランティアの参加者数は目標値に至らなかった。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民とともに国指定史跡である田能遺跡を末永く後世へと伝えていくためには、市民ボランティアとの連携・協力が欠かせないことから、事業を継続するなかで協働の取組を推進していく。 												

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	200	92	0	
需用費		90		消耗品費
役務費		2		保険料
委託料	200			
				令和3年度から田能資料館教育普及事業費へ移管
人件費 B	1,873	1,586	0	
職員人工数	0.16	0.11		
職員人件費	1,253	855		
嘱託等人件費	620	731		
合計 C(A+B)	2,073	1,678	0	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	2,073	1,678		